

科目名		テーマ		
福祉環境論		福祉的サービスを必要とするすべての人の人間存在としての「ウェルビーイング (Well-being)」とは何か、そしてその実現のための福祉環境とは何かについて論じ、社会福祉及び精神保健福祉における「自立と共生」のための人間生活環境・バリアフリー環境を考究する。		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修/指定科目
井上秀之・天野宗和 金子義宏	1年	2	社会福祉	必修/ 教職課程科目 (教科)

[授業の内容・到達目標]

<p>(オムニバス方式)</p> <p>(井上)</p> <p>そもそも、ハンディキャップとは、その人とその人をとりまく環境との関数と考えられる。ハンディキャップは、「障害をもつ」その人が、他の市民が利用することが可能な社会のさまざまなシステムへのアクセスを妨げる文化的・情報的・生活空間的バリアーあるいは社会的・制度的バリアーそして人の心のバリアーに出くわす際に生ずるものである。本講義では、社会福祉の理念であるノーマライゼーションの歴史的展開とソーシャルインクルージョンのあるべき方向について論じ、さらには人間存在とウェルビーイングを視点とした人間生活環境の構築を「優生学」の歴史的展開と「心のバリアフリー」との関係で論じる。</p> <p>(天野)</p> <p>年少者、障害者、そして高齢者に優しい生活環境は、すべての人々に優しい生活環境である。人が人と共に生き、人が自然と共生し、「人間存在としてのウェルビーイング」の追求は、21世紀の大きな課題である。本講義は、「福祉まちづくり (Building Supportive Communities) の実践例に学び、地域福祉における福祉環境共生システムの理論と実際を講じる。</p> <p>(金子)</p> <p>市場原理が優先する現代の先進諸国に共通の現象として、「精神的にイェルビーイング (Ill-being) の状態」におかれている人たちがいるはその予備軍的人たちの増加が顕著となっている。心とからだのクライシスは社会的病理を反映しているともいえる。本講義では、精神的な Ill-being の出現の人的・社会文化的環境要因さらには自然的環境要因に目を向け、そのメカニズムと予防的な位置づけとしての福祉環境共生システムについて論じ、さらには精神障害者の社会復帰のためのコミュニティリソースの活用方策とその人をとりまく人間生活環境のあるべき形態と機能について精神医学的側面から論じる。</p> <p>(井上)</p> <p>子どもの心とからだの問題は、その多くが両親との関係、家族関係そして友だち関係にその原因を求めることができる。「子どものウェルビーイング」は、すべての子どものなにもものにも代えることのできない権利であり、擁護されるべきもの (チャイルドアドボカシー) であり、地域・社会・国家はその実現の義務及び責任を負うものである。本講義では、子どもの心とからだの問題とそのメンタルケアとコーピング (対処方略) および福祉的援助に関して、家庭環境 (家族関係・家庭力) さらには社会的環境 (社会力) の問題と関連づけて児童の精神保健福祉的側面から講じる。</p> <p>到達目標は、今後、4年間で学び、修得する「福祉」の根本的で基礎的な考え方と知識・態度を学ぶ必要を理解するとともに、さらに深く自ら学習する基盤を身につける。</p>

[授業方法]

<p>授業は「オムニバス方式」をとり、プリント資料、パワーポイントなどを用いて講義する。質疑応答を大切にし、学生と共に考え、理解を深めあう授業を作りあげていきたい。</p> <p>準備学習については、授業の終わりに事前学習の内容を指示する。</p>
--

[成績評価の方法]

<p>レポートの評価 (50%) と授業への参加態度 (50%) に基づいて評価を行なう、</p>

[テキスト]

必要な資料は、授業で配布する。

[参考文献]

岩田正美『社会的排除』有斐閣、
 イングスタッド・ホワイト『障害と文化』明石書店、
 杉山登志郎『そだちの臨床』日本評論社

[履修上の注意・その他]

--

[授業計画]

実施回	内 容
1	人間生活福祉環境論を問う
2	人間存在としてのウェルビーイング (well-being) を考える
3	ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンを考える
4	心のバリアフリーを考えよう
5	年少者、障害者、高齢者に優しい福祉環境とは
6	安心して生活できるコミュニティとは
7	「福祉の町づくり」日本の実践例から学ぶ
8	「福祉の町づくり」外国の実践例から学ぶ
9	心身症：こころとからだのクライシス
10	うつ病—過労自殺
11	テクノストレス・燃えつき症候群
12	薬物乱用・依存
13	いじめ・不登校・ひきこもり等の問題とそれへの対応
14	児童虐待・家庭内暴力・薬物乱用等の問題とそれへの対応
15	障害児のための特別支援教育の現状と課題